



第42号

学園だより

心の飾りを

2019年度 入学式

平成から「令和」へ

日ノ本学園高等学校も更なる飛躍を目指して

満開の桜の花に迎えられ、ハンドベルの美しい響が心を潤す中で、第127回入学式が挙行されました。今年の5月からは新元号が「令和」に改められ、新たな歴史が始まります。この第一歩を踏み出す第127回生を代表して姫路市立東中学校出身の三輪春奈さんが決意を表明し、新しい歴史のページが開かれました。



入学式式辞（一部抜粋）

学校長 中川 守

新入生の皆さん、「ご入学おめでとうございます。」

皆さんを取り巻く現代社会は元号が改められると共に、急速に変化しています。教育の世界では、個人の資質や能力の伸長には「思考力・判断力・表現力」の重要性を説いています。私はその中でも「思考力」という言葉に注目しました。「思考力」とは考える力のことですが、私の「思考力」の「思」は「思いやり」の「思」です。私たちが日常、手にしている聖書にも、ふんだんに「愛」という字が登場します。真心こもった誠実な行動をしてほしいと願います。「思考力」の「考」の字には親孝行の「孝」の字を当てたいと思います。親や家族の恩に対して、

「思考力」の「思」は“思いやり”
「考」は“孝行”
「力」は“行動力”

持っている力を全て出し切って日々の学習行動、部活動に取り組み明るい学校生活を送るのが、高校生として最も相応している親孝行ではないでしょうか。そして、「思考力」の「力」には、「行動力」を当てます。過去のデータや成功例を引き出して判断し、正しい方向に進んでください。「熟慮断行」で自分の目指すものに挑戦してください。「行動力」はトライする力です。勇気と知恵を出して自分自身の夢を追い、実現させてください。実り多い高校生を送ってくれることを祈念します。



2019年1月(平成31年)
感激・感動・感謝の修学旅行
in香港・マカオ

現地のお姉さんたちと一緒に香港市内を探索に行ったり、それぞれの旅行先で誕生日を祝ってもらうなど、記憶に残る感動的な修学旅行でした。日頃、体験できない貴重な歴史体験や異文化交流、言葉の違う人とのコミュニケーションなど、初めての触れあいがたくさん出来ました。今回の修学旅行で体験した様々な財産を胸に、「未来」という夢に向かって一人ひとりがしっかりと自分の足で歩んでいきたいと思います。なかなか口には出して言えませんが、家族や先生方に伝えます。「ありがとう。これからもよろしく」



2019年2月(平成31年)
涙と感動の
第124回卒業証書授与式

～周りの人たちのしあわせを願う大人に～
18才といえば選挙権も与えられ、もう立派な大人です。これからは大人として、自分だけではなく周りの人たちもしあわせにするために懸命に生きてください。ある著名な作家は「己以外の誰か、何かを豊にしたいと願うのが大人の生き方ではないか」と述べています。思っていてもなかなか実行が伴いませんが、少なくとも、私はそう心掛けて日々を送っているつもりです。どうか己のしあわせから、周りの人たちのしあわせを考える人間に成長していってください。きっと何年後かにはそういう人間になっていることを期待します。
(学校長式辞より)

